



有意義な冬休みを!

みなさんにとってこの1年はどうでしたか? 中学校生活にもすっかり慣れ、新しい人間関係を築き、自分なりに考えたり、悩んだりしながら少しずつ成長したのではないのでしょうか。

ぜひ、自分自身で今年を振り返ってみて下さいね。そして、心も体も成長して新しいスタートができるように、冬休みを一日一日大切に過ごして下さい。

【1月の予定】

- 8 (木) 始業式・書き「初め
- 9 (金) 確認テスト (1-5 限) +学活 (6 限)、給食開始、15:25 頃下校
- 15 (木) 一斉委員会
- 16 (金) 第3回英検
- 20 (火) お話ボランティア、職業講話 (56 限)
- 30 (金) R8 年度前期生徒会役員選挙

1月8日(木)
 朝掃除 8:30
 始業式 8:55
 書初きめ 9:10~
 下校 11:35 頃

1月17日~18日
 小・中学校書き初め展
 (加賀市美術館)

1月30日~2月1日
 ふれあい展
 (加賀市美術館)

※12月27日(土)~1月4日(日)
 この期間は閉庁日です

始業式(1月8日)の予定と持ち物

1 限 始業式	持ち物	記録ノート、筆記用具
2 限 書き初め		習字セット+ペットボトル、習字用の雑巾
3 限 書き初め片付け+終礼	提出物	<input type="checkbox"/> 冬休みの書き初め1枚
下校 11:35 分頃	お知らせ	新年の目標を考えておく

確認テスト(1月9日)の予定と持ち物

1 限 国語	4 限 社会	持ち物	記録ノート、筆記用具
2 限 英語	5 限 数学	提出物	<input type="checkbox"/> 冬休みワーク
3 限 理科	6 限 学活	お知らせ	給食開始
	下校 15:25		

思春期講座『生と性の学習会~つながっていく命~』

12月9日(火)に、「生」と「性」についてわかりやすくお話をさせていただきました。自分自身の体のこと、心のこと、学年の仲間や、周りの大人の思いなどについてゆっくり考え、今までの自分を振り返る良い機会になりました。みなさんの感想をいくつか紹介します。

生と命をつなぐ性のことなどを知ることができてよかったですと思いました。印象に残っているのは、35億分の1の確率で自分は産まれてきているということでした。だからこそ自分も周りの人も大切にしていきたいです。そして、このような場があってもいいと思いました。

赤ちゃんはお腹の中にいるときに肺をふくらませる練習をしていることを初めて知りました。赤ちゃんはすごいなと思いました。赤ちゃんは生まれてくるタイミングを自分で決めているし、自分が自分になる確率も35億分の1と知って、びっくりしました。自分がここにいるだけで奇跡なんだと思いました。これから自分の命は自分で守り大切にしたいなと思いました。

私は、自分が自分として生まれてきたのは、とても奇跡的で珍しいことなんだなと思いました。今までは、自分が生まれた背景を知ろうとは思っていませんでしたが、この機会に親に聞いてみたいと思いました。そして、人によって性やそれに対する感情がかなり変わることを知ることができたのでよかったです。

私は、今回の話で、命はどうやってできるのか、その命の守り方を学びました。自分がイヤだと思ったことはイヤと言っていていいと分かりました。でも自分がいいと思っても相手がイヤだと思っているかもしれないから、しっかり相手の意見を聞きたいと思いました。これからは、この学びを大切にしていきたいです。

私は異性の身体づくりがどうなっているのかわらなかつたです。この話で女子と男子の共通点やちがうところを知れました。思春期は今の自分たちだから、今後はあまり身体をさわらせたり、さわらないことが大切だと思いました。話が少し恥ずかしいと感じてしまう場面もあったけど、これからは性についてわからないことは調べたり、きいたりして将来に役立てたいと思いました。

自分たちの命がとても貴重であることが分かりました。体のづくりについて学んだときには、恥ずかしがらず真剣に学ぶことができました。たくさんのお話があったけど、僕は特に自分の体や心は自分で守ることが大切だと感じたので、これからの自分に生かそうと思いました。また「性は多様性」というワードが印象に残ったので、今後考えてみようと思いました。

私たちは35億分の1の確率で、お母さんが命をかけて生んでくれた命ということを知って、感謝をしなきゃなと思いました。また、私はハグすることは嫌いではないけど、人によっては手をにぎるのも嫌な人もいるということを知って私生活でも考えていきたいなと感じました。

赤ちゃんを生むときに大変なのは親だけでなく、赤ちゃんもなんだと知りました。自分の体もだんだんと大人になってきているんだな~とも思いました。私はハグや手をつないだりすることは、友達でも親友でもイヤだと思っています。でもイヤっていったら相手が悲しむから我慢しなきゃと考えていました。でも、自分の体のことは自分で守らないとだめだから、相手が誰であつてもさわられたくないところをさわられたとき、ちゃんと断ろうと思いました。

学年集会『言える・聞ける・コミュニケーション』

学年目標であるチームほっこりは「安心・安全な集団づくりを目指して互いに尊重し、認め合い、ほっこりとしたチームにしよう！」という意味が込められています。学年集会では自分の行動を振り返り、『いじりや悪口をしていないか』『それを見かけた時に注意できているか』などを再確認しました。そして、学年全体としてこれから取り組みたい行動を一人一人が考えました。

私はずっと自分が悪口言わないことを守ればいいのか軽く思っていました。しかし、自分だけが守ればいいのかではなく、皆が守れるいい環境を作らなければいけないことが分かりました。これからは、誰かが傷つく言葉を発していたら注意していきたいです。

「いじめ」についての話で、改めていじめは良くないことが分かりました。誰かが1人の悪口を言ったり嫌なことをしたりして相手が学校に来れなくなったら、その人だけでなく家族などの周りにいる人も悲しい気持ちになることを知りました。これからはいじめられているところを見たら止めることができるように心がけていきたいです。

友達と話しているときに、友達のことを変な風にいじったり、嫌がることを言ったりするのはダメだと思いました。自分にとっては、相手のことをいじっているつもりかもしれないけれど、相手にとっては、いじめのように受けとめているかもしれないということが分かりました。今後は「いじり」か「いじめ」なのかをしっかりと考えていきたいと思いました。

自分は冗談で言った言葉が、もしかしたら相手を傷つけているかもしれないんだなと思いました。私は友達をいじったことがあります。その友達は笑っていたけどもしかしたら、心の中では傷ついて嫌な思いをしていたかもしれないと思いました。これからは、冗談でも言ってはいけないことを区別していきたいです。

もし、悪口やいじめをしている人がいたら注意したいです。そして、自分も言わないようにしようと思いました。これからも、相手の気持ちを考えて発言したいです。注意をしないといけないことは、無視をしないで、しっかりと注意していきたいです。そして、自分もいじめにつながるような行動はしないようにしたいです。

今までの行動を振り返ると、最初は言い合いのケンカをしていたのに、自分だけがヒートアップしてしまい、最後には一方的に悪口を言うってしまうということがありました。この話を聞いて、自分で自分の感情を抑えたりコントロールができるようになりたいと思いました。そのためには、自分の状態や環境を理解し整えて、ストレスを減らし、心を落ち着けていきたいです。

いじめといじりは、ほとんど一緒に、受け止める側が傷ついていたら、それは間違いなくいじめだということを知ることができました。言葉は刃物ということも知ったので、これからは今までよりも、もっと気をつけて発言したいです。もし友達が相手が傷つくような言葉を言っていたら、黙って聞き流さないで注意できるようにもしていきたいです。

僕はいじめはとてもダメなことだと思いました。いじめは、いじめられた人がつらい思いや悲しい思いをして学校にこれなくなるなどの影響があることも分かりました。この影響はその人だけでなく家族にも関係して行くので、いじめを見つけたら止めて先生に知らせたいと思いました。

言葉はとても便利でいいものだけど、口を滑らせてしまうだけで、それを言われた人はとても傷ついてしまうことが分かりました。また直接言われていないけど聞こえただけで傷ついてしまう人もいました。自分はどんなことがあっても、そのような言葉を使わないようにしたいです。言ってしまったときには、しっかりと謝りたいと思いました。

私はいじめをしたことはないけど、悪口を言ったことがありました。今回の話で言われた子が不登校になったとき、家族や友達が悲しくなったり、苦しくなったりすることに気がつきました。今まで、相手の気持ちを考えたことなかったし、私の発言で悲しんでいたとしても、相手も悪いからいいかと気にしていませんでした。だからこそ、この考えを直したいし、悪口をいわないように気をつけます。

いじめは加害者が忘れても被害者には一生の傷だと思います。加害者は、あやまったからおわりと思っても、いじめたという事実は変えられないです。そして被害者もいじめられたということは謝られて消えるものではないです。私はどちらにもならないために、嫌なことは嫌とはっきり伝えるようにしたいです。

言葉は物事を伝えることができ便利だけど、使い方を間違えると人を傷つける武器になるということが再確認できました。前回の学年集会のときに何が悪口なのか、なぜ言ったらだめなのかを聞いたところだったので、まだ悪口や陰口があると聞いて驚きました。1つ1つ間違ったところをなくして行って「チームほっこり」に近づいていければいいなと思いました。

私は人の名前や容姿をいじったことがありました。だから、この話はとても心にささりました。チームほっこりを目指すために、自分の言葉や行動の1つ1つが与える影響をしっかりと考えたいです。

この話を忘れずに心の中に入れて生活をしたいです。言葉は暴力より強いかもしれないと思いました。なぜなら、暴力の痛みはいつかなくなると思うけど、言葉はずっと心の中に残ってしまって、学校とかに行きづらくさせてしまうかもしれないからです。